

1 単元 走りはばとび

2 指導計画（5時間完了）

- 走り幅跳びの記録を取ろう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間
- ポイントを意識して練習しよう・・・・・・・・・・・・・・・・3時間（本時2／3）
- 練習の成果を発揮しよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1時間

3 本時の指導

(1) 目標

走り幅跳びの動き方を理解するとともに、仲間との対話を通して、お互いの動きを確認し、より遠くに跳ぶコツをつかむことができるようにする。

(2) 情報活用能力の育成について

タブレット型PCのカメラ機能で撮影した自分の動画と手本を比較し、グループで話し合いながら、ポイントを意識してより遠くに跳ぶことができるようにする。

(3) 準備

タブレット型PC 5台、一連の流れと動きのポイントが書いてあるワークシート

(4) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
5分	1 本時のねらいをつかむ。	○ 前時までの動きのポイントを確認し、どのポイントを意識して練習に取り組んだか確認する。
30分	2 走り幅跳びの練習に取り組む。 (1) グループに分かれ 本時の練習のポイントを 確認する。 (2) 跳ぶ様子をタブレット型PCで撮影する。 (3) 動画とワークシート の手本を比べ、友達に アドバイスする。	○ グループに分かれ、自分の動きで見てもらいたいポイントをグループの友達に伝えるようにさせる。 ○ 前時までに出来ていなかったポイントがあれば、そこから取り組ませる。 ○ 練習に取り組んでいる児童以外は、練習に取り組んでいる児童の動きをしっかりと見て、アドバイスさせる。 ○ 練習に取り組んでいる児童の動きをタブレットの動画撮影機能を使って撮らせる。 ○ 動画とワークシート上の手本を見比べさせ、できているポイントは褒めたり、できていないポイントを伝えさせたりする。 ○ 動画を再生するときに、コマ送りや一時停止の機能を使うと動きのポイントに着目しやすいことを知らせる。

評価事項

走り幅跳びの動き方を理解するとともに、仲間との対話を通して、お互いの動きを確認し、より遠くに跳ぶコツをつかむことができる。【発言・ワークシートの記述内容】(思考・判断・表現)

□… 動画の一時停止機能を使って、ワークシートに描いてあるポイントと同じように動き、どのように動くときよいか伝える。

☆… 仲間がどのように動くときよいかについて、動画を使ってアドバイスをしたり、手本を見せたりするように促す。

10分	<p>(4) 再度、練習を行う。</p> <p>3 本時の振り返りをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 動きができている児童には、グループの仲間にもどのように動くかを実際に動作を交えてアドバイスするように促す。 ○ 自分の練習した成果や課題を振り返り、ワークシートに記入させる。 ○ 数人に指名し、本時の振り返りを発表させる。
-----	---	---

※斜体…情報活用能力を育成する学習活動